

David Bath

Dr. Saito Abbott

Advanced Japanese Service Learning

6 December 2016

### Japanese Service Learning Final Essay

私はサービ斯拉ーニングをしながらたくさんレッスンをしました。オードテラス小学校ではこのレッスンを教えました。毎週月曜日に私たちのグループはオードテラスに行きました。2時から3時半まで私たちは生徒たちの宿題を手伝いました。この生徒たちは小学生なのでこの宿題は少し易しかったです。私たちはいろいろな生徒たちと交流しました。私たちはみんなを手伝いました。生徒たちはどんどん自信がつかれました。なぜなら、生徒が手を挙げるときはいつも手伝いました。生徒たちはどんどん宿題を分かるようになるので、教育を好きになります。

宿題の後で私たちはレッスンを準備しました。3時半から4時半までレッスンがありました。いろいろなレッスンの話題がありました。主にレッスンで私たちはたくさん文化や言語や数字や活動を教えました。まず、日本語の基本的な言葉を教えました。たとえば、「こんにちは」や「すみません」や「おはようございます」や「ありがとう」をおしえました。理由は毎レッスンでこの言葉を使いました。どんどん生徒たちはこの言葉をわかります。それから、私たちは数字と色を教えました。初めは少し難しかったです。理由は時々生徒たちは数字や色を忘れました。

でも、私たちは毎レッスンで言葉や色や数字を復習しました。なので、どんどん生徒たちは言葉や色や数字を覚えられました。私たちはレッスンを始める前にホワイトボードに1から10までと赤や青や水色や緑や紫やオレンジや黄色を英語で書きました。

た。生徒たちはローマ字で正しい答えを書きました。毎レッスンを復習したので生徒たちはたくさん色や数字を知っています。それから、日本の文化を教えました。たとえば、おにぎりの作り方や折り紙の折り方を教えました。

生徒は自分たちの文化について議論し、それを日本の文化と比べました。たとえば、私たちは日本の四季を教えて生徒達の四季に比べました。日本の文化を学ぶ時に生徒たちは色々な文化の中に違いを見つけることができます。だからほかの文化を学ぶ時に生徒たちはさらに自分の文化を分かるようになります。たとえば、レッスンでは生徒達は絵を描いていました。この絵は四季について生徒達の文化です。たぶん生徒達の祭りや文化的な活動です。生徒達は自分の文化を見て日本の文化を見ます。今、生徒達は自分の文化をさらに理解しています。

CPYはすべての子供を平等に扱い、疎外を防いでいます。CPYで生徒達は教育の平等な機会があります。生徒達の家族は低所得にもかかわらずCPYで私達は生徒達の宿題を手伝えます。そして、CPYには民族にかかわらずすべての生徒たちを尊敬しています。

子どもたちに日本語と日本文化を教えることを通して、彼らは他の文化が持つ価値観を学び、偏見のない姿勢を持つようになります。たとえば、日本人は箸を使ってアメリカ人は銀食器をつかいます。日本人の主食はお米でアメリカ人の主食はパンです。二つの文化に違いはありますが、どちらも間違っていない。文化には正解も不正解もありません。

今日、世界はもっと小さくなっています。色々な国が協力して、世界のグローバル化はさらに進んでいます。今、多くの先生は生徒達に世界を見る教育をしていません

が、私たちが生徒たちに外国語を教えるときに生徒たちはどんどんグローバルシチズンに近づきます。

この生徒達の近所は危ないです。理由はギャングや犯罪があります。だから、生徒達の近所は時々危険です。CPYは私達は生徒達に安全なところを与えます。理由は近所で生徒たちがギャングに巻き込まれないようにするためです。

そして、危険な環境では生徒たちの将来が危ないです。たぶん生徒達は学校をやめます。将来に生徒達は低所得の生活が待っているかもしれません。または将来に生徒達は犯罪者になるかもしれません。だから、CPYで私達は生徒達の宿題を手伝ってほかの文化を教えたら生徒達は教育を楽しみます。生徒達はほかの文化や言語を楽しんだら将来にほかの言語を学びます。だから、生徒達はもっと機会があります。

CPYには差別がありません。でも、多くの学校は個人を見ません。理由は多くの学校には民族だけを見ます。例えば、CPYには生徒達の大半はヒスパニックです。だけど、私達は個人を見ます。理由は私達は生徒達を軽視しません。私達はステレオタイプを使いません。だから、CPYでは私達は生徒達の生活をわかったら私達は本当に生徒達を手伝います。理由は私達は本当の問題を分かったからです。

私達は生徒達の生活をわかるので生徒達や社会が必要としていることをもっと手伝います。私達は生徒達の社会を調べたので生徒達の必要なものがわかります。理由は生徒達の近所を見たからです。そして、私達はCPYの幹部に生徒達の近所や社会について尋ねました。生徒達の大半は家族が低所得です。だけど、この学校の放課後プログラムはとても大切です。理由は生徒達の家族はたぶん教育に興味がないからです。なぜなら、低所得の家族は仕事だけを見て教育を優先しません。そして、生徒達の近所は犯罪があるので少し危ないです。

生徒達の家ではたぶん生徒達の家族は生徒達の宿題を手伝いません。理由は生徒達の家族は低所得だからです。低所得の社会では仕事が一番大切です。だから、生徒達の親は生徒達に働いて欲しいです。そして、たぶん生徒達の親はあまり教育を受けていません。だから、生徒達は宿題をわからない時に親もわかりません。しかし、CPYでは私達は生徒達の宿題を手伝うので生徒達は教育の平等があります。

アメリカの学生はよくほかの文化や言語をわかりません。そして、時々学生は僻みやステレオタイプを学びます。残念なことに時々学生は偏見があります。なぜなら、アメリカの学校には文化を教えません。でも、CPYでは私達はほかの文化を教えます。生徒達がほかの意見をわかったら世界には差別がどんどん消えます。なぜなら、この生徒達はグローバルシチズンになります。もっと生徒達はグローバルシチズンになる時に世界に少ないステレオタイプや僻みがあります。

私達のレッスンの中心はいつも文化でした。例えば、折り紙のレッスンでは私達は千羽鶴を教えました。日本の文化において千羽鶴はとても大切です。願いをかなえるために千羽鶴を作ります。そして、私達は日本の兜も教えました。兜を教えたように日本の戦国時代を教えました。この話題はとても面白いも大切な文化です。このようにして、日本の折り紙を通して私達は日本の文化を教えました。

私達はすべての生徒達を手伝いました。時々、低所得の社会には平等がありません。お金持ちの生徒はさらに良い教育を受けるので尊敬されます。そして、時々人々は低所得の生徒達やほかの民族の生徒達に不当な取り扱いをします。でも、CPYでは私達はいつも平等に生徒たちと接します。民族や低所得にかかわらず誰でも生徒達を手伝いました。そして、レッスンでは誰にでも教えました。それから、私達はステレオタイプ

や僻みを使いませんでした。CPYには平等があるのですべての生徒達は尊敬があります。あらゆる学校は平等があったらすべての社会はより良い教育があります。

よく、学校では学生は自信がありません。たとえば、たぶん先生は生徒達の質問がくだらないと思います。低所得の社会特に時々生徒達は教育の自信がありません。理由はたぶん生徒達の親が教育に興味がないからです。生徒達は働いたら生徒達は教育が大切じゃないと思います。だけど、CPYでは私達はいつも生徒達を手伝います。生徒達は宿題をわからない時に私達はその宿題を教えます。私達は生徒達の手を上げたら大丈夫だと思います。だから、生徒達は宿題をできたらもっと自信があります。

時々、生徒達の近所や家は危ないです。たとえば、ギャングの活動があります。そして、時々学校の環境はステレオタイプや僻みがあります。生徒達はCPYに行かなかったら放課後に危険な環境に行きます。だけど、CPYはとても安全なところです。そして、CPYには危険な環境も僻みもありません。CPYの生徒達には安全な教育の環境があります。だから、生徒達の教育は増し契機があります。

時々、低所得の社会には教育は大切ではないです。大抵の親は生徒達の教育の契機がないと思います。だけど、私達のレッスンには物質的なものを使いました。よく生徒達は生徒達の親に使ったものを見せました。生徒達は使ったものを見せる時に生徒達の親は生徒達は教育の契機があると思います。そして、社会にはどんどん教育は興味があります。「たぶん、私の子供は大学に行ける」と生徒達の親は思います。

CPYの環境はとても素晴らしいです。CPYのプログラムは生徒達に色々な大切な丁寧物を教えます。CPYを通して平等が進みます。理由は毎日CPYでは生徒達はCPYの信条を言います。この信条はすべての人を尊敬をしていつも丁寧になってほかの文化を尊敬することを大切にしています。だから、CPYを通して生徒達はステレオタイプや

僻みを学びません。でも、生徒達はすべての意見が尊敬を学びます。生徒達はどんどんグローバルシチズンになります。理由はほかの文化をわかったら将来に生徒達は外国人と協力ができるからです。

私はたくさん教えることを学びました。そして、社会公平を学びました。低所得の社会でマイノリティーを手伝ったのでマイノリティーの必要なものがわかりました。将来は私は低所得の社会を手伝うことができます。そして、サービ斯拉ーニングは直して手伝うだけではないです。サービ斯拉ーニングはコミュニティが持つ問題を明らかにしてくれます。サービ斯拉ーニングは協力です。

初めに私は低所得の社会だけを見ました。この生徒たちは私たちの授業を学ぶだけで、私には何も教えないと思いました。でも、どんどん生徒達は私に教えました。例えば、私は生徒達の文化を学びました。生徒達の社会は私に本当の問題を教えました。私はいつも聞いたので私はたくさん物を学びました。

そして、CPYを通して私は初めて教える経験をしました。将来に私は先生になりたいです。だけど、私は今まで教えたことがありませんでした。初めは教えることは少し難しかったです。レッスンの予定を考えることは特に難しかったです。でも、生徒達はとても素晴らしかったです。どのレッスンでも生徒達は日本語や日本の文化を学びたがっていました。私はとてもびっくりしました。レッスンを教えることがどんどん楽しくなって教えることが大好きになりました。理由は生徒達はいつも興味を持っていたからです。そして、生徒達はいつももっと日本文化や日本語を学びたがっていました。私は情報があったのでいつも答えがあります。CPYでのこの経験を通して私は本当に先生になりたい気持ちが強くなりました。

